

～ 「基本情報技術者 T A C 式戦略的学習法」 ～

1 . 基本情報技術者試験の性格と概要

http://www.jitec.ipa.go.jp/1_08gaiyou/_index_gaiyou.html からの引用

試験の概要

情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」の水準がある程度以上であることを認定している国家試験です。

情報システムを構築・運用する「技術者」から情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、IT に関係するすべての人に活用いただける試験として実施しています。特定の製品やソフトウェアに関する試験ではなく、情報技術の背景として知るべき原理や基礎となる技能について、幅広い知識を総合的に評価しています。

試験の目的

- 情報処理技術者に目標を示し、刺激を与えることによって、その技術の向上に資すること。
- 情報処理技術者として備えるべき能力についての水準を示すことにより、学校教育、職業教育、企業内教育等における教育の水準の確保に資すること。
- 情報技術を利用する企業、官庁などが情報処理技術者の採用を行う際に役立つよう客観的な評価の尺度を提供し、これを通じて情報処理技術者の社会的地位の確立を図ること。

試験のメリット

合格者には一時金・資格手当などといった報奨金制度を設ける企業や、就職の際に試験合格を考慮する企業など、多くの企業から高い評価を受けています。

日経ソリューションビジネスが 2008 年 9～10 月に実施したアンケート調査（2009 年版「いる資格、いない資格」）では、技術職に取らせたい資格の上位 10 位中 9 つを、営業職に取らせたい資格の上位 10 位中 6 つを、情報処理技術者試験が占めました。（参考リンク：株式会社日経 BP IT Pro のサイトの記事「いる資格、いない資格」）

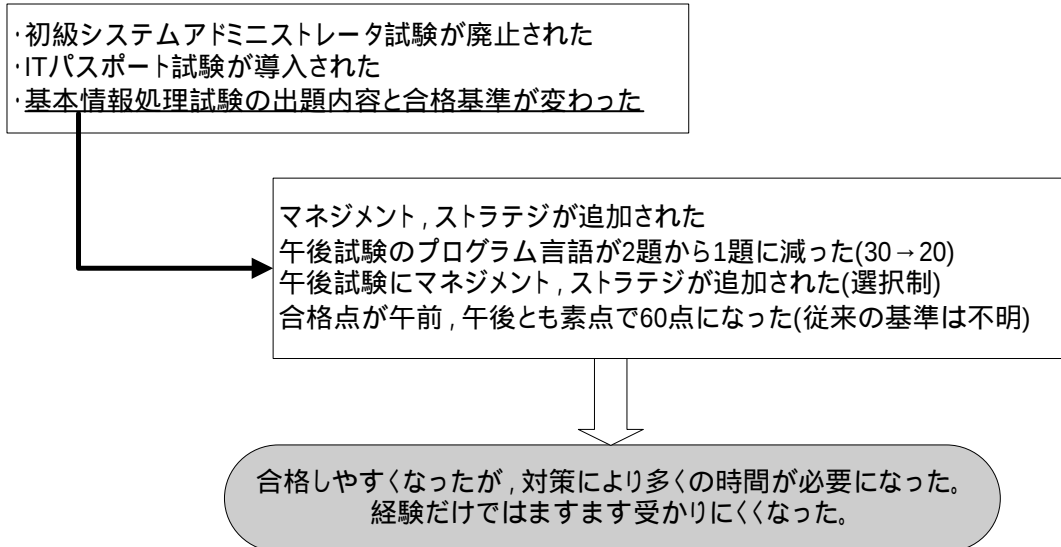
また、社団法人情報サービス産業協会発行の「賃金データ」平成 18 年度調査によると回答企業 118 社中 110 社が、少なくとも一つ以上の試験区分に対して一時金又は資格手当を支給しています。

情報処理技術者試験合格者（指定試験区分）は、国家試験（中小企業診断士、弁理士）の一部免除制度が受けられます。

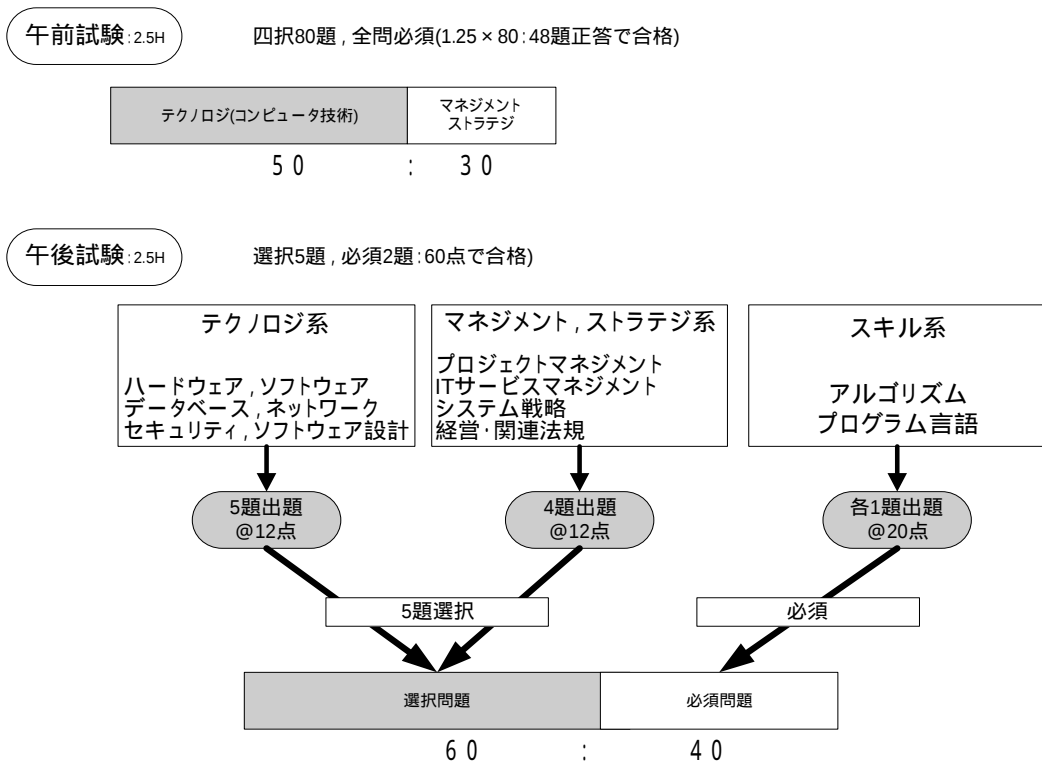
教員採用選考試験において、情報処理技術者試験合格者に対して、試験の一部免除を実施する県市があります。

2. 平成 20 年度の制度改定について

基本情報技術者周辺に起きた事象では・・・



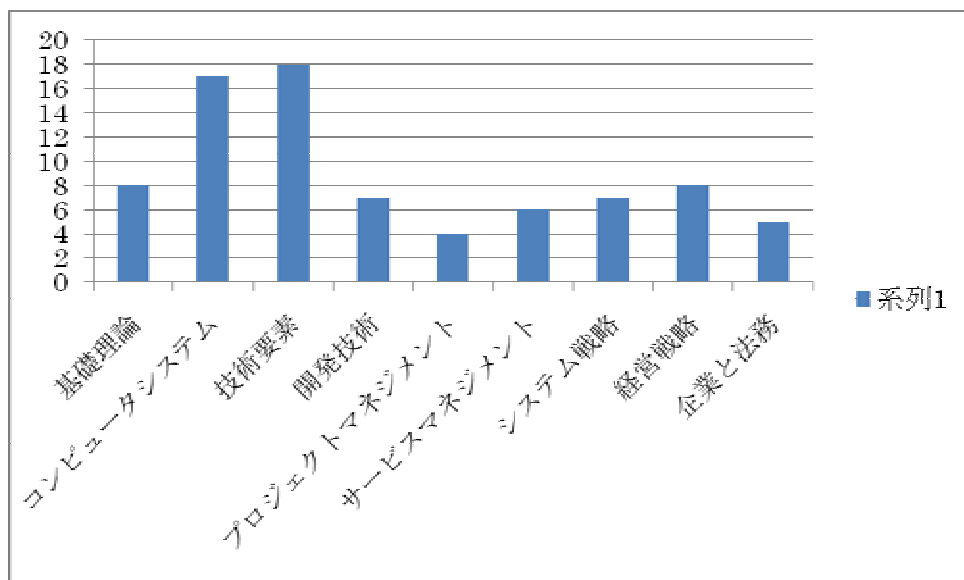
3. 基本情報技術者試験の出題と形式 ~ 何が問われるか



4. 平成 21 年度春の出題

(1) 午前試験

テクノロジー	基礎理論	基礎理論	4	8
		アルゴリズムとプログラミング	4	
	コンピュータシステム	コンピュータ構成要素	6	17
		システム構成要素	5	
		ソフトウェア	4	
		ハードウェア	2	
	技術要素	ヒューマンインタフェース	4	18
		マルチメディア	1	
		データベース	5	
		ネットワーク	4	
		セキュリティ	4	
	開発技術	システム開発技術	5	7
		ソフトウェア開発管理技術	2	
マネジメント	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	4	4
	サービスマネジメント	サービスマネジメント	3	6
		システム監査	3	
ストラテジ	システム戦略	システム戦略	4	7
		システム企画	3	
	経営戦略	経営戦略マネジメント	4	8
		技術戦略マネジメント	1	
		ビジネスインダストリ	3	
	企業と法務	企業活動	2	5
		法務	3	



(2) 午後試験

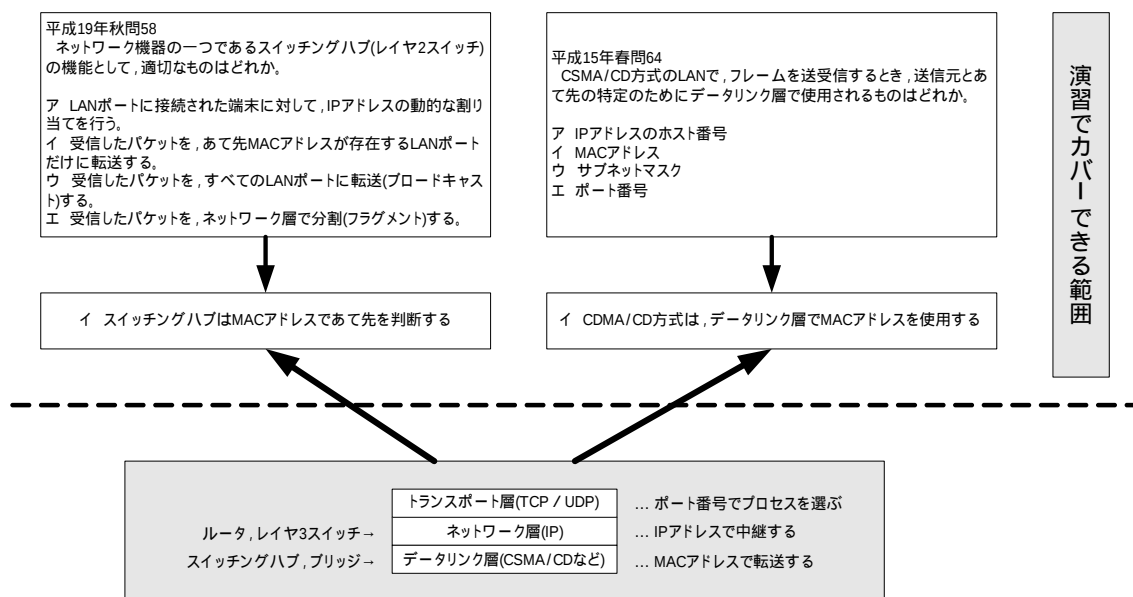
ハードウェア	12	○	7題中5題選択
ソフトウェア	12	○	
データベース	12	○	
ネットワーク	12		
セキュリティ	12	○	
ソフトウェア設計	12	○	
プロジェクトマネジメント	12	○	
ITサービスマネジメント	12		
システム戦略	12		
経営・関連法規	12	○	
アルゴリズム	20	○	必須
プログラム言語	20	○	必須(5言語から1言語選択)

5. 分野別 TAC 式戦略的学習法

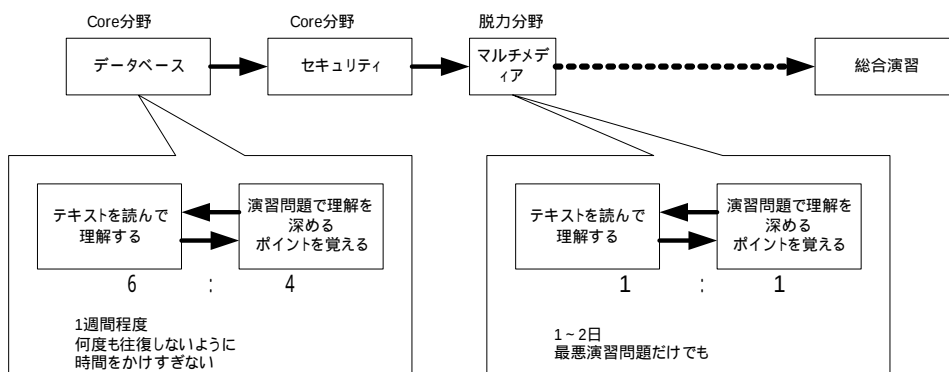
(1) 午前対策

- ・捨てる分野は作らない
- ・午後試験を見据えた上で「Core 分野」と「力を抜く分野」を作る
- ・(特に技術系) → マネジメント&ストラテジは捨てない
(午後の保険にもなる)
- ・暗記に頼らない → 暗記は必要だが、理解した上での暗記
- ・問題演習に頼り切らない
 - 「何回分かの過去問を繰り返して練習すれば受かる」はリスク大！
 - 知識の断片化が生じる
- ・問題演習は得点力を劇的にアップさせるので軽視は禁物！

(問題演習に頼り切らない理由)

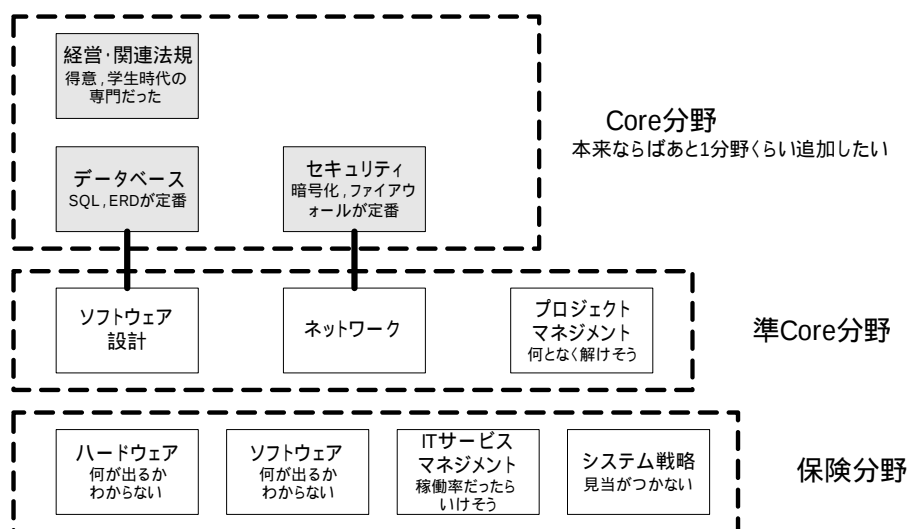
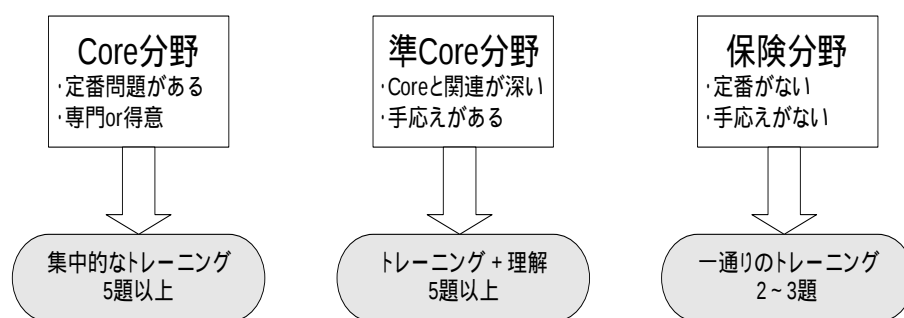


(学習方法)



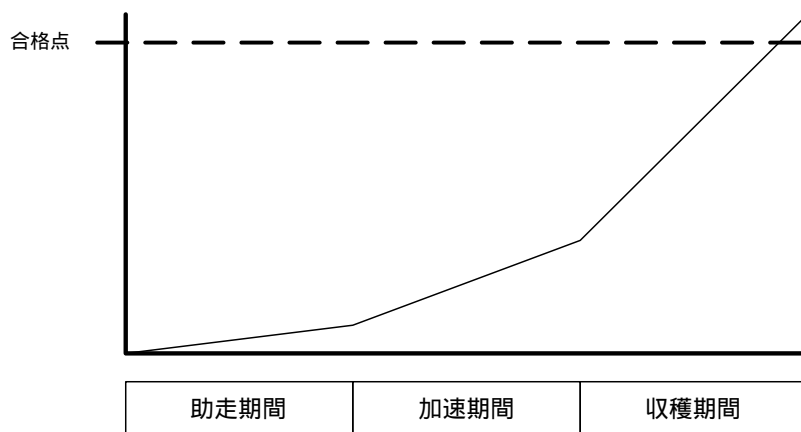
(2) 午後選択問題対策

- ・トレーニング中心。間違えてしまった設問は解説で理解する。
場合によってはテキストに戻って復習し直す。
- ・原則として捨てる分野は作らない(保険)。ただし、(午前と同様)分野にメリハリを付ける。
- ・Core 分野，準 Core 分野，保険分野に分ける
 - Core 分野は強力な得点源にする。
 - 準 Core 分野は Core と同じくらいに育てる
 - 保険分野はそのもの保険，余力を入れない



(3) 午後必須問題対策

- ・問題を解くための「スキル」が必要な分野
- ・時間をかけた長期的な学習でスキルを高める
 - スキルを合格レベル(50～80%)にあげるには，3 ヶ月から(場合によっては)6 ヶ月近く必要



助走期間(0.5～2 ヶ月)

- ・とにかく，何でもよいのでプログラムの全体像や流れをつかむようにする。
この期間に集中して文法などを覚えようとしてもムダ！
- ・わからないことを気にするよりも，わかるところをつまみ食いする。
- ・アルゴリズムのテキストを眺めてみる。プログラム言語の入門書をざっと読みする。
- ・アルゴリズムの読解を「試みる」。

加速期間(1～2 ヶ月)

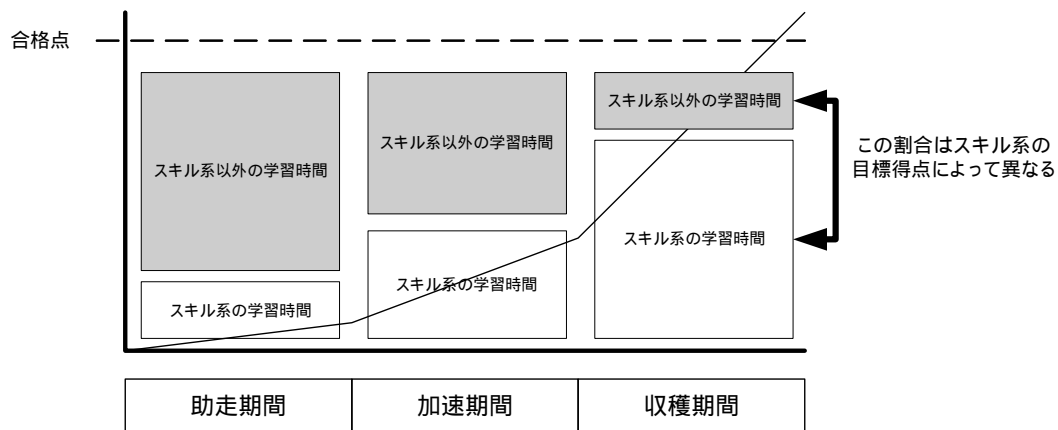
- ・テキストをしっかりと読んで，疑問点をつぶしてゆく。
文法や記述法などを確実に覚えてゆく。
- ・わからなければ誰か(先輩，講師，友達，etc)に聞く。
それでもわからなければ先に進む(先に進んで解決することもある)。

収穫期間(1～2 ヶ月)

- ・とにかく過去の問題 or 問題集などに収録された問題を解く。
- ・わからないところは，解説などを読んで理解する。
とにかく「完全に理解する」まではプログラムに取り組む。
- ・実際の解答時間(1 題あたり 20～25 分)にはこだわらない。
- ・終盤では解答時間を意識したトレーニングを行う。
- ・この期間ではできるだけプログラミングに集中する。
他分野の学習は気晴らし or 実力維持トレーニング程度。

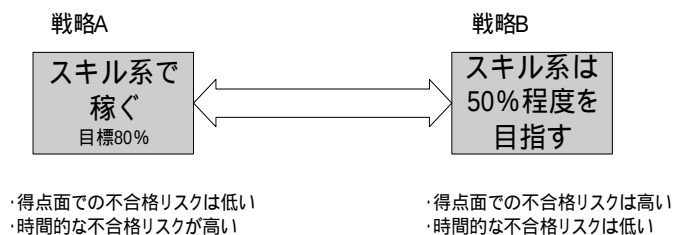
6. TAC 式戦略的学習スケジュール

全体のスケジュールは、午後必須問題対策(スキル系)が決定する！

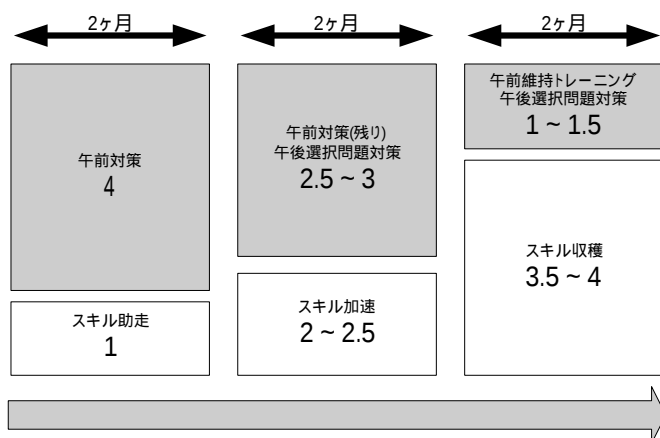


- ・午前対策は「今すぐ」始める → **スキル系の助走期間が最大のチャンス**
- ・午前対策を一通り終えてから午後選択問題トレーニングに移った方が、成功率は高い
- ・スキル系を「50%でよい」とするならば、スキル系の学習時間を減らし、選択系のトレーニングに回す

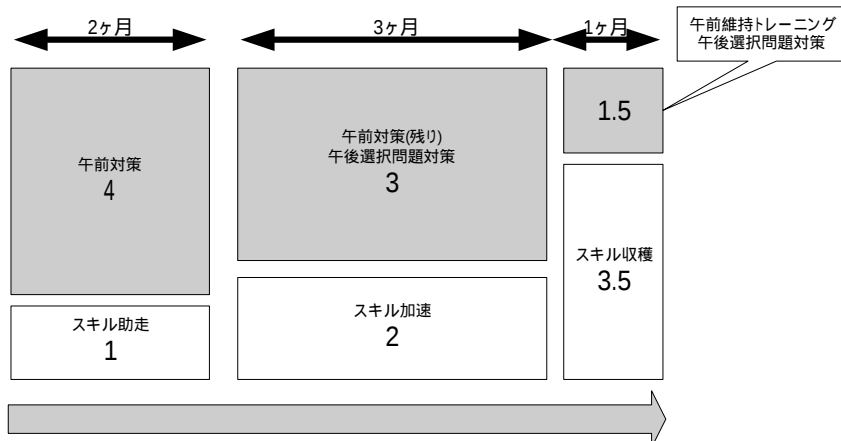
(計画しておきたいこと)



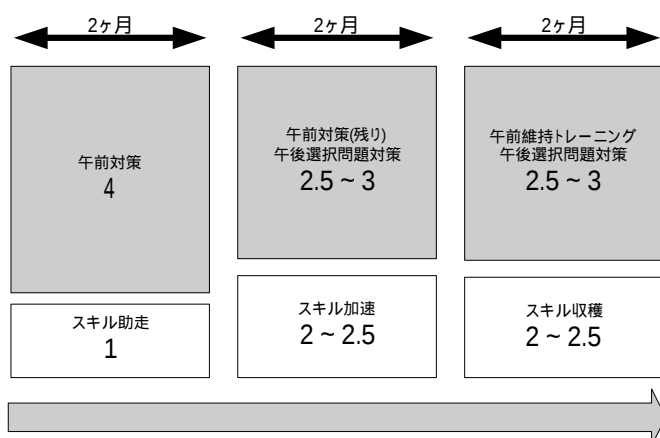
(戦略 A)



(戦略 B1)



(戦略 B2)



7. 午前免除を取り込んだスケジュール

- ・ 第一回免除試験(12 / 20) , 第 2 回免除試験(1 / 24)のいずれかに合格すると , 本試験の午前試験が免除になる
 - 本試験を含めれば , 午前に合格するチャンスが 3 回に増える
- ・ 免除試験に合格すると , 後の学習スケジュールが非常に楽になる
- ・ 免除試験の合否に基づいて , 戦略を積極的に変更することができる(午後リスクの低減)

